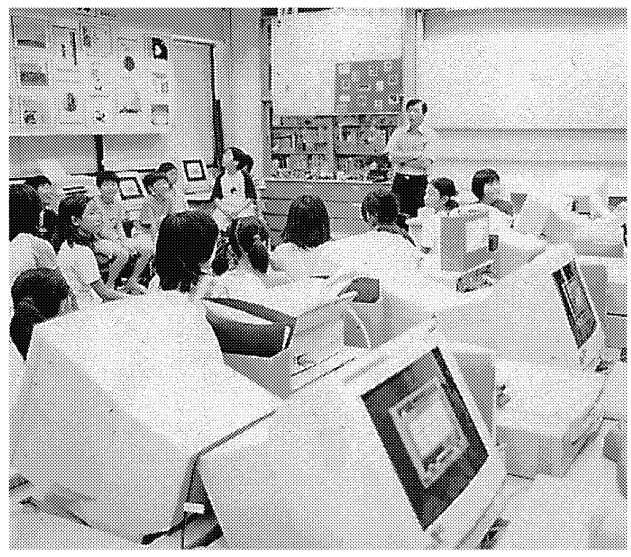
# 一般質問

## 学校教育の問題点を理解せよ

政新クラブ　島田　議員

**議員**　いじめ、不登校、学級崩壊、学力低下等の問題が、小・中学校で起きている。地域、学校、家庭の三者に起因したものだが、学校現場に限定して、問題点と今後のあり方を問う。①戦後、個性尊重を重視した民主主義教育が実践されてきたが、今日の状況は危機的だ。戦後の教育理念への所見を聞く②戦後、日本では米国型教育制度の影響を受けたが、現在、その米国で地域・教員・保護者等が主体的に運営するチャータースクールを導入し、教育改革に着手している。今後の公立学校のあり方を問う③本市の学校教育の基本方針にある「個性を生かす教育」と教育現場に残存する平等主義教育は、児童・生徒の士気の喪失等、矛盾点を生じている。今後の取組みを伺う④平成12年6月に三鷹市中学校区学校運営連絡会が設置された。学校の閉鎖性を解く観点で有効な手段だが、組織の形がい化には注意すべきだ。㋐構成員の人選㋑評価体制㋒小学校での導入予定――を聞く⑤PTA活動は、「開かれた学校」づくりに不可欠だが、実態が見えづらい。㋐現状㋑課題――を示せ⑥本市の情報教育は、先進市と評価が高いが、インターネットによる有害情報は、児童・生徒に悪影響を与える。対応を示せ⑦児童・生徒の問題解決には、幼児期の教育が重要だ。所見を伺う。

**教育長**　①憲法や関係法律等の規定が理念と考える②教員の人事考課制度、効果的授業等の導入とコミュニティスクール等が必要と考えている③新教育課程の趣旨である個性尊重や成就感の体得を推進する④㋐保護者、関係団体、校長等だ㋑連絡会に検討するよう依頼した㋒検討する⑤㋐教師と連携した教育活動をしている㋑共働き家族の増加で、父親の参加と役員の担い手が少ない点だ⑥遮断を施した⑦今後も積極的に取り組む。



インターネットに取り組む子どもたち
……市立第三小学校

## 教科書採択手続の適正化を図れ

政新クラブ　宍戸　議員

**議員**　昨今、教科書問題が議論されている。本市でも、平成14年度から小・中学校で使用する教科書について、本年4月から新学習指導要領に基づく採択が行われる。教科書採択のあり方をめぐっては旧文部省が平成2年に問題点を指摘したが、改善が進まず、12年に再度、市町村教育委員会に、教科書の調査研究を十分に行い、採択者としての責任を明確にするなど、手続の適正化を求めている。これを受けて今年2月、東京都教育委員会からも事務改善を求める通知が出された。現行制度は、教育委員会が教科書を選定する仕組みである。しかし、通知によれば、実際は現場教員らによる調査機関が特定の教科書の絞り込みを行い、教育委員会は追認するだけというケースが多く、また特定の教育集団の意向に沿った教科書が多く採択されるといった現象などもあるという。この通知は現場教員以外の意見も重視し、新学習指導要領に準拠して行うことを求め、バランスのとれた教科書を子どもたちに届けるための措置と考える。①教科書採択について、市長として所見はあるか②本市では、教科書採択の基準となる採択要綱等がないようだ。また、採択にあたっては学校推薦方式による絞り込みが行われ、教員以外に保護者や市民の意見が入る余地はない。通知に沿った手続の適正化が早急に必要と考える。教育長の見解を示せ。

**市長**　①市の教育委員会では、十分に調査検討をし、主体的に責任を持って採択をしてほしい。

**教育長**　②基本的には、都の通知に沿って対応したいが、教育委員会を開催し、きちんと議論した上で対応すべきとも考える。4月の委員会で今後の手順、採択要綱等を定めるが、その中で論議をし、今後の方向性を決めていきたい。

〈その他の質問〉成人式について

## 緑、環境施策と学校給食を問う

政新クラブ　加藤　議員

**議員**　21世紀、環境問題は地球規模で考えなければならない最重要課題である。①市民アンケートによれば半数の市民は環境を重要課題としている。また、新聞社の世論調査でも6割の人が環境問題を福祉の上に位置付けている。㋐環境に対して、行政の意識が後ろ向きであるとの意見があるが所見を伺う㋑市民の意識変革について所見を聞く②緑豊かな都市の実現には、緑を大切にし、循環させなければならない。恵まれた緑から、せん定された樹木をチップ状にし、土へ戻す方法が考えられる。町田市は「剪定枝資源化センター」を建設し、調布市はチッパー車を保有している。㋐本市における緑の循環型社会の構築について所見を示せ㋑調布市のチッパー車の概要と効果について問う③学校給食で、市内産野菜を農家から直接納入して使うことは、生産者の顔が見える心の通った緑の教育になる。また、生産者と子どもたちが言葉を交わし、心を通わすことが環境問題の啓発になり、心の教育に寄与する。多摩地域でもいくつもの市が行っている。本市でもできる方法を見いだせ。その教育効果と直接納入について所見を問う。

**市長**　①㋐広域的に多摩各市と協力して取組む体制を整えたい㋑大きな課題として工夫を凝らして市民にアピールしたい②㋐策定する環境基本計画の中で、総合的な視点を持って実施していく。

**教育長**　③教育、健康等にも役立つと認識している。市内産の野菜の使用と、農家からの直接納入について、できるだけ努力したい。

**生活環境部長**　②㋑市内の遊び場でせん定した枝をチップ化し、畑のたい肥に、あるいは公園の遊歩道などにまいている。いずれも、喜ばれていると聞いている。たい肥利用時の加工、作業時の騒音等も考慮し今後十分検討していく。

## 南部図書館の早期実現を

公明党　永原　議員

**議員**　サイレントベビーという喜怒哀楽の表情がない乳幼児がいると聞く。絵本等を読んであげることもなく、両親の子育てに対する無関心さに原因があるとされ、次代を担う子どもたちの育成の観点で問題である。①92年に英国でブックスタート運動が展開された。2冊の乳幼児用絵本と登録カードの入ったバッグを配布し、その本を通して、楽しい時間を過ごし、親子のきずなを深めるとするものである。読書率を引き上げる効果もあり、本市で導入すべきと考える。所見を伺う②パソコンの貸し出しや本とパソコンで情報収集する拠点となるのがこれからの図書館のあり方と考える。よって、本市の図書館に自由に使用できるパソコンが必要だ。取組みを示せ③公立の小・中学校22校中13校に学校図書館を設置し、利用する児童・生徒が増加したのは評価をする。さらに、開かれた学校づくりと図書館の充実策の一環として、購入図書の選定や図書の登録等を内容とするボランティア制度を導入し、児童・生徒との交流や利用の促進を図るべきだ。所見を伺う④図書館は市民活動の基盤であり、人材育成や情報の早期収集等に不可欠である。さらに、地域の活性化にも資することから、早急に南部図書館設立を希望する。所見を伺う。

**市長**　④新基本構想・基本計画の中で建設時期等を示したい。

**教育長**　①他自治体の実施状況を勘案し対応したい②スペースの確保が困難なので、学校施設等のパソコンの活用を検討したい③現在、四校で読み聞かせおはなし会など地域ボランティアを導入しており、今後も拡充したい。

〈その他の質問〉商店街対策について

## 電子投票導入の可能性を示せ

公明党　緒方　議員

**議員**　昨年8月、旧自治省から、「IT革命に対応した地方公共団体における情報化施策等の推進に関する指針」の発表があった。これを踏まえ、12月には「地方IT推進のための自治省アクション・プラン」も策定された。それらの中に検討項目の一つとして、電子機器利用による選挙システムが示されている。①旧自治省の「電子機器利用による選挙システム研究会」は、電子投票に伴う課題を整理した中間報告を、昨年8月にまとめた。この報告書に示す、㋐電子投票へと進化していく3段階を説明せよ㋑電子投票の検討課題を伺う②今年11月の広島県知事選における広島市内での投票から、電子投票の一部が実証的に実験されるとの新聞報道があった。東京都の段階で、実証実験の実施や導入の可能性に関し、指針等が出ているか③高齢者や障害者の投票を容易にし、また今夏の参議院選挙のように、翌日まで開票が持ち越されるような開票作業の負担増を考え、三鷹市として早期の実証実験の実施や導入に、所見を示せ。

**選挙管理委員会委員長**　①㋐指定投票所での投票機による投票、指定以外の投票所での投票、投票所外からの個人のコンピュータによる投票の3段階だ㋑本人確認のシステムづくり、データ送信の際の安全性確保などである②研究会を設け、導入の効果や課題の検討をしている。今後は導入に向けた具体的な手法の検討、提言があると思う③国や都の研究会の動向を踏まえつつ、広島市での試験的導入の結果にも注目し、導入の可能性や効果を十分検討していきたい。

〈その他の質問〉情報基盤の積極的活用／地区公会堂の整備と活用／交通安全対策

## コミュニティ・センター　利用実態を解明せよ

政新クラブ　田中　議員

**議員**　本市のコミュニティ行政がスタートして約30年が経つ。これを一つの区切りとして、現状を把握するための実態調査を行い、その結果を踏まえ、今後のコミュニティ行政のあり方を探るべきである。①市のコミュニティ行政はスタート時、全国に先駆けた試みとして注目を集めた。各住協（住民協議会）では、多くの行事や事業が行われ、自主グループの活動も活発である。活動は各地域の献身的な多数の住協委員に支えられている。一方、委員の固定化や若い人の参加が少ないなどを心配する声もある。見解を聞く②各委員の献身的な活動に加え、コミュニティ・センター一つ当りに年間、市が8千万から9千万円助成している。しかし、利用者数は、延べ人数で公表されているが、反復利用者を一人として数えた実数で、利用者が、果して市民の何%になるか、実数は極めて少ないのではないかと懸念する。実態調査を早急に実施し、現状を正確に解明されたい。果して、利用実態はどうか、実情を見極め、コミュニティ行政の新しい方向を探る必要がある。㋐コミュニティ・センター等の利用状況㋑住協活動の市民へのPRへの取組み㋒対応――を伺う。

**市長**　①コミュニティが核の行政運営を重要視する点からも、住協と市が共に考える課題ととらえ、可能な限り努力したい②㋐新川・中原地区住協で現在準備中のアンケート調査や国の委託調査である市民活動の研究結果や他の補完方策により、実態把握に努めたい。

**生活環境部長**　②㋐住協全体で、コミュニティ・センターへの来館者数は延べ約60万から67万人だ。自主グループは約400、7千人が登録している㋑コミュニティ関係のシンポジウム開催のほか、活動の活性化に向け議論している。今後の住協活動で、成果を生かしたい。

## 歩行者優先の道路に転換せよ

公明党　丹羽　議員

**議員**　①道路は、社会生活の基盤だったが、今、発想の転換が求められている。21世紀の道路行政に考えを問う②道路の設計基準の道路構造令が抜本改正される見通しだ。自動車通行が最優先の道路設計を転換し、歩行者・自転車、また公共交通など他の交通手段をより重視する。歩行者や自転車の通行量に応じ、歩道や自転車道の幅が変更可能になる。所見を伺う③福祉的視点での道路・歩道の改善と課題に関して、㋐取組み㋑誰もが一休みしたり、交流可能なポケットスペース整備への考え㋒課題――を聞く④人見街道には歩道がない部分や、狭い歩道で傾斜がきつく、電柱もあり、自転車、車いす、乳母車は通れず、通行に危険を伴う部分もある。牟礼二丁目大盛寺別院沿いの歩道は、長年の懸案だ。電柱の移設を含め、改善への取組みを問う⑤都市計画道路3・4・13号線の牟礼、新川地区は間に東八道路を挟むが連動する道路である。牟礼地区の街路樹選定に関し、新川地区と同じ桜を望み、三鷹の桜の名所にとの周辺住民の願いがあった。しかし、市は、はなかいどうに決定した。㋐選定の基準㋑所見――を聞く。

**市長**　①都市基盤としての重要性も認識し、歩行者、自転車、公共交通機関や緩衝緑地帯の空間を重視する③㋐新基本構想、基本計画策定の中で検討中だ㋒地権者等の理解へのPR等だ⑤㋐様々に検討した結果で、止むを得ない。

**都市整備部長**　②道路の役割を十分検証し、改正構造令の趣旨を生かしたい③㋐十分検討したい④移設が可能か、関係機関と協議し解決したい⑤㋐道路幅員、交通量、日照関係、土地利用の状況等だ。

〈その他の質問〉福祉行政について

ゆったりとした歩道が数多くほしい
……玉川上水沿いのポケットスペース